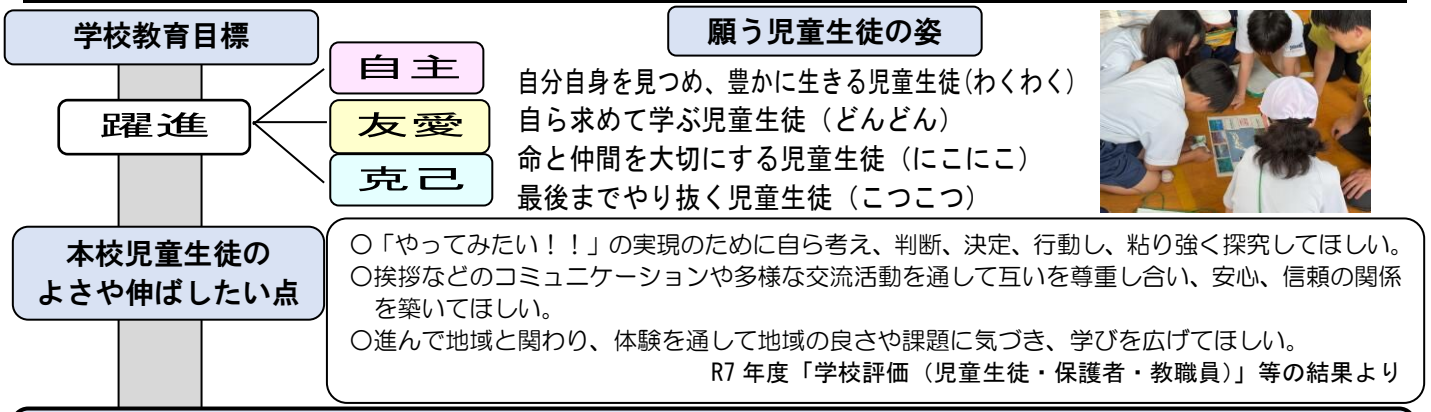


4 令和8年度 信濃町立信濃小中学校 グランドデザイン

日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領・長野県教育振興基本計画（第4次）・信濃町長期振興計画（第6次）
 （第3次信濃町教育大綱 基本理念） 未来を拓く深い豊かな学びの創造

（基本理念）「信濃町に誇りを持ち、次代を担う人材の育成」～学びに向かう力と温かな人間性の涵養～



重点目標：明日もまた来たくなる学校（楽校）づくり
 ～「やってみたい!!」から始まる学習や活動を通して、自分で考え、判断し、決定して、行動できる子どもが育つ学校～

重点活動とつける力

学びの個性化	交流の深化	地域と共に
<p>児童生徒一人ひとりが自ら問いを発し、解決に向けて考え、探究する児童生徒を育てます。</p> <p>1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが自分に合った学び方を選んで、探究的な学びを進めます。 仲間との意見交流や情報共有を通して、自らの学びを深めたり、課題を解決したりします。 <p>2 一人ひとりの学びをつなぐ学習過程の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項や経験体験をつなぎながら、義務教育学校9年間の継続的な学びを深めます。 学校と家庭での学習をつなげられるような、家庭学習の目安となる「手引き」の作成をし、家庭と共有します。 <p><自己調整力></p>	<p>多様性を認め合い、どの子にも居場所があり、安心して自分の力が発揮できる環境、関係づくりを進めます。</p> <p>1 異学年・同学年交流活動の深化</p> <ul style="list-style-type: none"> 異学年や縦割り集団による活動の目的を大切にしながら、企画・運営をします。 互いに認め合い、自己効力感が育つ学級学年活動を工夫して作り出します。 <p>2 お互いが好きなことや楽しいことに取り組む時間と場</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間や場の使い方を工夫して、好きなことや楽しいことに進んで取り組みます。 原級と特別支援学級とが連携しながら、多様な仲間や人々と交流する機会を大切にして、他者理解に努めます。 <p><人間力></p>	<p>地域の人々との温かなつながりを通して、ふるさとへの思いを語り、地域に貢献できる児童生徒を育てます。</p> <p>1 人の温かさを感じ、地域と共に歩む活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと学習」のカリキュラムの見直しを行い、遊びや体験を通して、とことん探究することで、地域の人、もの、ことのすばらしさを学びます。 保護者や地域、「学校応援団（地域学校協働本部）」と連携し、持続可能な地域とのつながりのあり方を検討します。 <p>2 地域とつながり、未来を拓く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 町の行事へ積極的に関わり、学校と地域が、お互いに支え合う主体的な活動を展開します。 信濃町の未来を担う一員として、地域の方と町づくりについて学び、考え、提言します。 <p><遊び力＝探究力></p>

地域の支え 「学校運営協議会」「学校応援団（地域学校協働本部）」「PTA」「しなのホエールズ」
 授業支援 行事支援 児童生徒会支援 読書活動支援 部活動・クラブ活動支援 登下校指導支援 環境づくり支援 等



グランドデザイン 評価の観点

学校自己評価における以下の項目で、肯定的に回答する児童生徒の割合を増やします。

1 「信濃小中学校での生活は楽しいと感じている」	(R7 88%)
2 「誰にでも気持ちのよいあいさつができています」	(R7 79%)
3 「自分のクラスは、いじめのない友達関係ができています」	(R7 80%)
4 「自分は、家庭学習をしっかりとできるようになっている」	(R7 86%)

* 学校自己評価等（7月 児童生徒・教職員が対象、12月 児童生徒・保護者・教職員が対象）を行います。これらの結果を教育課程編成プロジェクト、児童生徒会、学校運営協議会等で検証し、次年度の方向を決定していきます。